

令和 7年 4月26日

座間市長 佐藤弥斗 殿

座間市野球協会

会長 飯島芳雄

座間市民球場施設改修等の要望書

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、当協会の運営に対し、多大なるご支援ご指導を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当協会では、会員とともにアマチュアスポーツとしての正しい野球を市民一般に普及し、その健全な発展を図るとともに、会員相互の親睦並びに市民の体位向上に寄与し、併せてスポーツを通じて健全なる人格と豊かな社会感覚を養うため市内外との交流を行うことを目的として、日々、活動をしております。

つきましては、令和8年度の予算編成や第五次座間市総合計画の実施計画の策定にあたり、次の要望事項につきまして特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

<要望項目>

1. スコアボード並びにバックネット上部の SBO 表示の変更

(SBO→BSO への変更)

2. 外野コンクリート製の壁に安全ラバーの設置

3. ライト側のフェンスの増設

4. 今後の市民球場のあり方について

<要望事項 4 の具体的な内容>

* 現在地の市民球場は、ホームベースの位置が南側に位置し、朝日や夕日がプレーに支障をきたしています。これは、「屋外体育施設の設計指針」によりますと北東若しくは北西に位置することが望ましいとなっています。また、本来バックスクリーンの位置に得点版があり、打者が投手の投球を打つ際、邪魔になっているのが現状です。また、夜間照明塔の一部がグラウンド内に位置し、安全面等に懸念があります。また、ダッグアウト（ベンチ・選手控室）においても登録選手 25 名に加え監督、コーチスコアラー及びマネージャーなど約 30 名が用具や着替え等を置くスペースが必要となります。

座間市民球場は、現時点で A クラスの神奈川県大会 3 大会（国民スポーツ大会・天皇賜杯・神奈川県知事杯）中、2 大会（国民スポーツ大会・神奈川県知事杯）を実施しており、大会に際し、ダッグアウト前にフェンスを置き、拡張して対応しているのが現状です。ま

た、野球場に付属する施設についても一体性、連続性が無く、特に女性専用のトイレ環境については、著しく脆弱な状態です。また、外野フェンスの下部は、コンクリートがむき出しており、積極的なプレイに支障をきたすとともに、近年用具類の進化（バット・ボール等）により、外野フェンスを越えるホームランが多くなり、近接する住宅や道路に達するボールの飛び出しなどが多く、とても危険な状態です。

今回、早急な対応として、要望1から3をお願いするに至りました。

そこで、要望1につきましては、既設の配管、配線を活かし、低廉な工事費にすること。要望2につきましても高価な緩衝マット（ラバー）の設置ではなく、既存のコンクリート壁に胴縁を取り付け、木材の板を設置するなどして低廉な工事費にすること。要望3につきましても恒久的なフェンスではなく仮設的なネットフェンスにすることを提案させていただき、今後の市民球場の抜本的な移転等を検討していただきたいと考えております。

今後の市民球場のあり方として、抜本的な移転を考え提案いたします。

現在地の市民球場は、市街化区域に位置し、周辺は、都市化が進捗しています。市が進めている「公共施設の利活用」の観点から市街化調整区域に移転し、現敷地は、都市計画的な用途純化を図り、住宅用地などに転用し、税収の増加を図ることが可能と考えます。

なお、市民球場の移転に必要な財源につきましては、「防衛施設周辺の環境の確保に関する法律」第8条（民生安定施設）を利用するためにも、過去に夜間照明設置に際し、同法の適用を受けており、今後の照明器具のLED化などを踏まえ、「補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律」第22条（財産処分）を事前に行い、新たに野球場の施設整備

全体を補助対象として申請することにより、特定財源の確保を図るとともに、現有敷地を住宅地等への用地処分費と今後税収増が期待される財源により可能と考えます。

いずれにしましても、将来的な「公共施設の利活用」の観点からもこれらを含め、検討していただきたく、協会役員並びに登録チームの名簿を添えて、要望させていただきますので、一定の方向を示す回答をお願いいたします。

事務担当：座間市野球協会

副会長 森田 敬真